

# 学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第8号 令和7年12月1日(月)  
『自他を認め 進んで考え挑戦し 未来を拓く生徒の育成』  
～自己指導能力とWell-beingの涵養～  
挑戦(Challenge)・認め合い(Respect)・粘り強さ(Resilience)

生徒数 1年 117名 2年 129名 3年 152名 計398名

〒285-0845 佐倉市西志津4-18-1 043-462-1161

## ◇『不易流行』◇

校長

昭和100年(令和7年)が間もなく幕を閉じようとしています。昭和に生まれ昭和で育った私には、何か1つの区切りのようで感慨がひとしあです。「腐ったミカンの方程式」という言葉を今でも覚えている3年B組金八先生第2シリーズは、私の中学生時代とちょうど重なり、横浜銀蠅となめ猫が世間を席巻していました。思い出はセピア色に褪せてしましましたが、何かがあるとふと記憶が蘇ります。西中生も、いつの日か今の喜びや痛み、なんでもない日常と流行を懐かしく思い出す日が来るのだと思います。今あたりまえと思い込んでいたもののうち、いくつがその時のあたりまえとして残っているのでしょうか。

☆まだ家にあり現役で活躍しているものはあるでしょうか

○ダイヤル式黒電話 ○VHSビデオ機 ○カセットテープ・MD ○ワープロ ○ゴキブリホイホイ

○ポケベル・ピッチ ○瓶のジュース ○フロッピーディスク ○餅つき機 ○缶切り

○CDコンポ ○フィルム式カメラ ○ロケット鉛筆

☆街にはこんな風景がありました

○駅の伝言板 ○個人商店の商店街 ○電話ボックス ○公園や駅のごみ箱や公衆トイレ ○キオスク

☆学校にはこんなものがありました。

○焼却炉 ○学級連絡網 ○プールの腰洗い槽・洗眼器 ○組体操 ○夏休みの登校日 ○レモン石鹼

○名札を付けた登下校 ○毎時間のチャイム ○瓶の牛乳 ○耐寒マラソン ○家庭訪問

☆こんな文化もありました

○子供が家の鍵を持っていなければ、近所の人が家で待たせてくれる

○誰もいない家の配達物は、隣近所の方が預かってくれる

○在宅時は家のカギは開けたまま

○お米や調味料が不足したときは隣近所に借りて、別日に返す

○子供が遊んでいる時、場合によっては知らない大人に怒鳴られる

これらのこととは、いずれも社会の変化とともに淘汰されました。何が良くて、何がそうではないと論じることではないと思いますが、どうしてそうなってきたのかを西中生が知ることは、未来を創造する上で大事なことではないかと思います。何があって、どんな変容があって、得たものは何か、失ったものは何か、そして、未来で手にするべきものは何か。そこで、1つのきっかけになるかもしれない場所。

1976年に重要伝統的建造物群保存地区として選定され、さらに1995年には富山県の五箇山と共に合掌造り集落としてユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録された岐阜県の白川郷には、令和の現代でも守り続けている心があります。

### 「結の心」

「結」とは相互扶助のことです。白川郷の生活は、昔から個々の家の助け合いと協力があってこそ成り立つものでした。冬は雪に閉ざされてしまうので、家同士が助け合わないと生きていけないくらい、厳しい自然条件もありました。そのため、1年を通して様々な暮らし・行事の場面で助け合いが必要とされ、白川郷ならではの相互扶助の関係が築かれていきました。その「結」の心は現代にも、しっかりと引き継がれており、例えば合掌造りの茅葺屋根の吹き替えを、村をあげてみんなで協力しておこなっています。そしてこの共同作業の場は、次の世代へ先人の生活の知恵を伝える貴重な場、きっかけにもなっています。

この「結」の心から、現代が忘れてしまっているかもしれない「人々が力を合わせて助け合うことの大切さ」と「人と人のつながりや絆の大切さ」を再認識します。一方、性別・年齢・障がいの有無などの「表層的な多様性」に加え、価値観・信条・経験・スキルといった「深層的な多様性」を含めて尊重する、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)のような、新たな価値観が求められる今、昭和よりも難しさが増しているのだと思います。しかし、だからこそ大切にしなければならないことがあります。

### 「コミュニケーションと共感」

○相手の意見に耳を傾け、共感することで、より良い人間関係を築き、結の心を深める

傾聴: 相手の話を最後まで聞き、理解しようと努めること

意見の尊重: 自分と異なる意見を持つ人々にも敬意を払い、対話すること

共感の表現: 相手の感情に寄り添い、理解していることを伝えること

### 「自己肯定感と他者受容」

○自分自身の価値を認め、他者も同じように価値ある存在として受け入れることが、結の心を育む

自分を肯定できるようになると、他者をより深く理解し、受け入れができるようになる

自己成長: 新しい知識やスキルを習得し、自信を高める

多様性の尊重: さまざまな背景を持つ人々の価値観や文化を尊重する

時期尚早ではございますが、保護者の皆様には、本年も多大なるご支援をいただいたことに、心より感謝申し上げます。来る令和8年も、昭和100年の今年、言葉にして育み続けた「非認知能力」を、これからも西中生がWell-beingを未来でも享受できるよう進めてまいりますので、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。良いお年をお迎えくださいますことを心よりお祈り申し上げます。



令和7年度の冬休み 令和7年12月24日(水)～令和7年1月6日(火)



令和7年12月26日(金)は閉庁日・令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日)は年末年始休業となります。

« この期間に学校に連絡が必要な場合 »

12月26日(金)は、9:00～17:00の間に、佐倉市教育委員会学務課または学校災害用電話へ連絡してください。

12月27日(土)～1月4日(日)は、佐倉市役所代表電話または学校災害用電話へ連絡してください。

その際は、①学校名 ②学年・クラス ③生徒氏名 ④保護者氏名 ⑤電話番号を必ずお伝えください。

佐倉市教育委員会学務課(484-6219)・佐倉市役所代表電話(484-1111)・学校災害用電話(090-8800-7327)

### 12月・1月の主な予定

1日	月	校内研修日 一斉下校14:45	15日	月	学年会議 一斉下校14:45
2日	火		16日	火	
3日	水	全校評議会(3年生最終)	17日	水	
4日	木	3年生面接指導 1・2年一斉下校13:50	18日	木	給食最終日
5日	金	芸術鑑賞会・学校評議員会議	19日	金	弁当持参
8日	月	職員会議 一斉下校14:45	22日	月	大掃除 部活動実施の場合弁当持参
9日	火	2年生書初め指導	23日	火	終業式 一斉下校12:00 16:30留守電設定
10日	水	1年生書初め指導	24日	水	冬季休業(~1/6まで)
11日	木	全校委員会(3年生最終)・3年生書初め指導	25日	木	
12日	金		26日	金	閉庁日
1月7日	水	始業式	1月15日	木	3年生午前日課
1月8日	木	弁当持参	1月16日	金	3年生臨時休業
1月9日	金	給食開始	1月28日	水	新入生保護者説明会・子育て理解講座

スクールカウンセラーの出勤日は、木曜日です。12月は4日(木)と11日(木)と18日(木)です。

# 学習指導部より

## « 第3回定期テスト後、冬休みの課題 »

先日の第3回定期テストは、お子さまの学習状況や取り組み方を見直す大切な機会となりました。結果に一喜一憂するだけではなく、どの教科で力がついたのか、またどこに課題が残っているのかを確認することで、今後の学習により効果的に生かすことができます。

家庭での自主学習については、計画的に取り組める生徒が増えてまいりましたが、依然として学習習慣が安定せず、日によって学習量に差が見られる生徒もおります。「どのように準備し、どこでつまずいたのか」「時間はあるのに学習が継続しにくいのはなぜか」など、学習姿勢の振り返りが必要な場面も少なくありません。短時間でも毎日机に向かう習慣が、学習内容の定着において最も重要な要素です。

あわせて、より効果的に家庭学習を進めるためのポイントとして、次のことを参考にしていただければ幸いです。

### 【家庭学習のポイント】

- 学習時間を固定する（毎日18時から30分など、習慣化につながります）
- その日に学校で習った内容を必ず見直す（短時間でも復習すると定着が大きく変わります）
- ワークやプリントは“解きっぱなし”にしない（間違えた問題のやり直しが最も効果的）
- テストや小テストを活用し、弱点を可視化する
- 机まわりを整え、集中できる環境を作る（スマホの位置・テレビの音なども影響します）
- 無理のない量を決め、終わったら必ずチェックをつける（「できた」という実感が継続の力に）

冬休みは、これまでの学習内容を整理し、3学期の良いスタートにつなげるための絶好の期間です。教科書の読み返しやワークの復習を通して、不十分な部分を丁寧に補うことで、3学期の学びはより深まります。学校からは教科ごとに冬休みの学習ポイントを提示いたしますので、お子さまの課題に合わせて取り組めるよう、ご家庭でも声かけや学習環境づくりにご協力いただければ幸いです。

自分の学びを主体的に整える冬休みとなるよう、目標をもって計画的に過ごせることを願っております。

学習指導部

# 生徒指導部より

## « 11月の生活目標のふり返りと、12月の目標について »

11月の生活目標は「服装と教室環境を整えよう」でした。

クールビズ終了後の服装については、多くの生徒がスムーズに切り替え、落ち着いた服装で学校生活を送ることができました。特に3年生は面接練習も始まり、受験に向けた本格的な時期となっています。今後も学校全体で、自分たちで服装を整える習慣を身につけられるよう、支援を続けてまいります。

12月の生活目標は「時間への意識を再確認しよう」です。

先日マチコミでもご連絡した通り、朝の登校が遅れがちになる生徒が見られます。寒さが厳しくなる季節ではありますが、できるだけ暖かい時期と同じ生活リズムを保てるようご家庭でも声かけをお願いいたします。

時間を意識することは、受験や将来に向けての大切な力にもつながります。学校では互いに声を掛け合うことができますが、受験本番や社会に出たときには、自分自身で時間を管理していく力が求められます。

生徒が学校生活に余裕を持って取り組み、将来に向けた習慣を身につけられるよう、引き続きご家庭でもご協力いただければ幸いです。

また、保護者面談でもお伝えしました通り、11月29日・30日は「西志津中学校スマホの日」として、家庭でスマートフォンやSNSについて話し合っていただく日として設定いたしました。ご協力いただきありがとうございました。

近年、中学生がスマートフォンを通じて被害に遭ったり、加害者になってしまうケースが増えております。生徒たちが安全に情報機器を活用できるよう、学校でも指導を行っております。ご家庭でも引き続き見守りとご確認をお願いいたします。

生徒指導部



## 11・2 西志津町内会音楽フェスタ



## 西志津中のボランティア生徒&吹奏楽部生徒が輝かしい活躍



西志津地区の秋の恒例行事「西志津町内会音楽フェスタ2025」が、秋晴れの空の下、南志津公園で開催されました。

当日はたくさんの地域の方々が参加し、多くの保護者の皆さんも応援に駆けつけてくださいました。ボランティア生徒の皆さん、吹奏楽部の皆さんはそれぞれの持ち場で活躍し、会場を大いに盛り上げてくれました！！